



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2005.2

No.250

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



海老原美夫（さいたま市）

さいたま市の西端、荒川河川敷内に秋ヶ瀬公園があります。いくつかの探鳥地ガイドでも紹介されていますし、「色つきの小鳥たち」が見られることで人気の場所です。自転車で30分の位置に住んでいる筆者が、子供の森だけに絞って、最近の情報でご案内します。

●秋ヶ瀬公園の場所は

浦和駅西口から桜区役所・大久保浄水場方面行きバスで約15分「道場」で下車。バス道路はそこから右にカーブしていますが、進行方向に直進する道路を西に進めば、荒川の土手が見えてきます。土手に上がって左手に見えるのが子供の森です。

浦和駅・志木駅間のバスで「さくら草公園」下車、公園道路を北に歩いてたどり着くルートもあります。

車で行く方は、市販の地図などをご覧ください。秋ヶ瀬公園は羽根倉橋と秋ヶ瀬橋の間です。北の部分、羽根倉橋側に「ピクニックの森」があり、それより南、ふたつの橋の間くらいに位置するのが、「子供の森」です。

●春の旅鳥

2004年は2月初めにヒレンジャクが飛来、NHKで放送されたものですから、3月7日の日曜日には100人以上が集まる騒ぎになりました。その現場が①のヤドリギの丘です。カメラマンたちが小さな水場を作り、降りてくるのを待っていました。

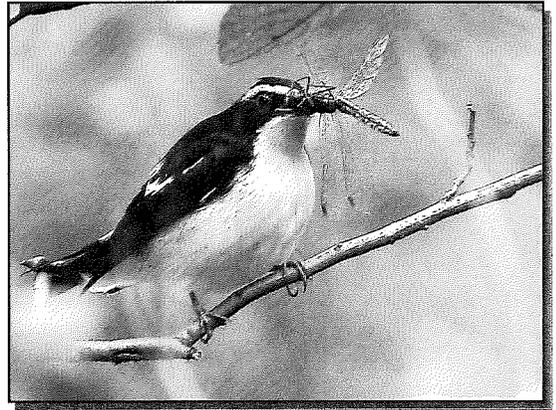
あまりの人数におそれをなした私はさっさと逃げ出し、別の日に、⑤の位置から、東側の森のキツタの実を食べに来るのをじっくり撮影しました。3月中旬ごろが、安定的に10羽以上見られるピークで、4月中旬ごろが最後でした。

ヤドリギの丘の裏側、②の位置のキツタの実を食べている年もありました。北側駐車場近くの木の新芽を食べていたこともあります。まれにキレンジャクが混じります。

ウソは来ない年もあります。2002年1月には⑤付近の桜の花芽を食べながらしばらく滞在しました。アカウソ♂2羽、♀1羽でした。

●春と秋の旅鳥

2004年秋のキビタキは例外的と言っているほど数多く、森の全域で見かけました。9月末から姿を見せ、10月中旬ごろがピークでし



た。この写真は、複数のオス・メスが周囲を飛び回っている中、⑩で撮影しました。11月に入ってもまだいましたが、気温が下がると、さすがに姿を消しました。

春は4月20日頃から連休頃にかけて滞在します。2003年4月23日の探鳥会では、⑨の位置のゴミ捨て場付近で見ることができました。

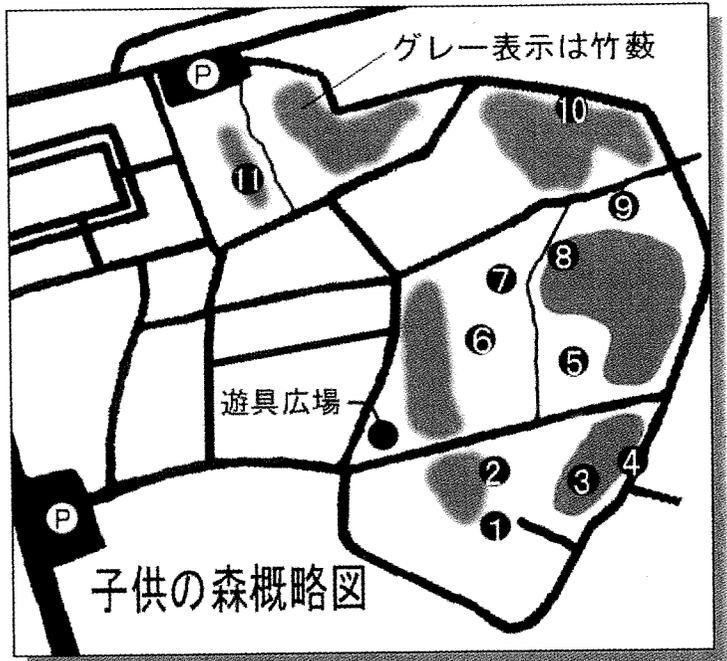
オオルリはキビタキと同じ様な時季に立ち寄ります。森のどこでも、可能性がります。2004年4月25日の探鳥会では③の林で多くの方が楽しみました。個人的に見かけることが多いのは、⑨付近です。秋の渡りの時は、半分茶色のオス若鳥に出会うこともあります。

サンコウチョウの情報は、年に2～3件聞く程度だったのが、2004年は春・秋ともかなり長い期間にわたって多くの情報がありました。と言っても、実際に見られた人は、1日に数人程度、行けば誰でも見えるというもの

ではありませんが、秋はオスの尾も短くなっています。

私が見たのは、ヤドリギの丘の裏②の林、⑤から見た北と東の林、⑥の林などです。キビタキやオオルリより遅い時季に現れます。グイグイッという地鳴きを目当てに探します。素早い動作で、ひらっと林の奥に消えていきます。

ミゾゴイはまれに情報がありますが、なかなか見ることができません。私は2004年10月20日に、⑩の更に北側にある林で撮影したのが、ここでは唯一の例です。

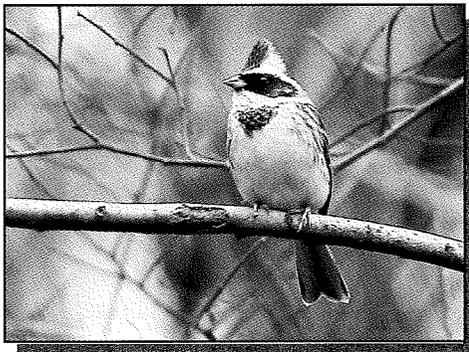


●秋の旅鳥

秋だけ、9月中ごろから10月中ごろまでに立ち寄るエゾビタキ・サメビタキ・コサメビタキのいわゆる「ヒタキ3兄弟」も見逃せません。⑤の枯れ木あたりが一番探しやすいでしょう。胸の模様だけではなく、後ろから見える風切の羽縁の色なども手がかりに、識別の勉強を楽しみます。

●越冬する鳥たち

この冬話題になったのはミヤマホオジロ♂若鳥1羽でした。2004年12月10日頃にカシラダカの群れに混じっているのが見つかり、⑦のくぼ地で水浴びをしたり、その西側の草原で採餌をしていました。



かつてはあまり見られなかったルリビタキが、なぜか近年、かなり多く見られるようになりました。2004年冬は、12月5日に④の位置で♀1羽を見かけたのが最初でした。2003年と同じ場所でした。人通りが絶えると竹藪から出てきて、道路上で採餌、時々止まり木にとまってポーズをとってくれます。

2003～2004年の冬、⑧のクロジの餌付けポイントにルリビタキ♂1羽が居ついて、カメラマンたちの人気の的になっていました。⑪の竹藪にも、ここ2～3年続けて♂が越冬しています。

トラツグミは、昨年⑨の位置から北の空き地で見られました。⑥あたりで越冬したことや、西の駐車場入口の右側付近にしばらくいたこともあります。

念のため付け加えますと、こういう人気者の鳥たちがいない時季の方が、1年を通じると、ずっと多いのです。そういう時は、いつものシジュウカラ、コゲラ、ヒヨドリなどが私の遊び相手になります。

ここは私が鳥を学んだ教室であり、写真スタジオであり、昼寝つきの書斎でもあります。

**探鳥会にはじめて参加しました
古澤洋子(本庄市)**

野鳥の会の会報誌を手にしたのは平成16年の5月。自宅の庭で鳥を見るだけの私に、『野鳥』誌を読む楽しみが加わったのです。初めて覗くコップの世界は、何やらとても楽しそうで、毎月ポストに“コトリ”と音のするのが待ち遠しくなりました。『しらこぼと』を読みながら、いつかは探鳥会に参加してみたいなあと思いつつ、ビクビク屋の私は、なかなか一步を踏み出せないでいたのです。庭に来る鳥しか知らないし、人と話すことも苦手だし…。でも、思い切って参加した探鳥会、楽しかった！

武蔵丘陵森林公園まで我が家から車で一時間弱。あたたかで風もなく林を歩くのには絶好の日でした。集合場所には担当の方がたくさんいらして、優しい笑顔に少しホッとした気持ち。歩き始めると、あちこちに鳥の声、鳥の影。大きなフィールドスコープを覗かせていただいたうれしさ。はじめましてのミヤマホオジロの黄色い冠羽を透ける光。池ではオオバンとバンを一緒に見ましたよ！ あっという間の2時間でした。

鳥をたくさん知らなくてもいいんだ。鳥に会いたければそれでいいんだ。もっと早く参加すればよかったな。そう思いながら駐車場に向かう帰り道、わたしの目に飛び込んだのは大きなノスリです。もう1種！こころが叫びました。

**関東ブロック協議会に参加して
大坂幸男(上尾市)**

11月13日(土)と14日(日)の2日間、関東ブロック協議会に参加してきました。場所は栃木県塩谷町の星ふる学校「くまの木」。ここは旧熊ノ木小学校の校舎を改造して宿泊施設にしたものです。名前の通り満天の星空が眺められる素晴らしい環境ですが、夜は懇親会の方が盛り上がりすぎてしまい、残念ながら星を見る余裕がありませんでした。

さて、協議会の方は1日目の行事は午後1時半から始まりました。私は埼玉県支部に入会して10年になりますが、今回が初めての参加となります関係か、かなり緊張していました。はじめに栃木県支部河地支部長の挨拶があり、その後本部の柳生会長から神奈川支部の湘南タゲリ米や、大水害にあった豊岡のコウノトリを守る会会長を引き受けた話など、隣席の中村専務理事にまだ話を続けても大丈夫かと何回も尋ね、時間を気にされながらのユーモア溢れる挨拶に、思わず緊張がほぐれる一瞬でした。

会議の方は出席者の自己紹介に始まり、次期開催担当支部(吾妻)の確認等の後、5時過ぎまで3件の議題が、活気ある発言で終始盛り上っておりました。恥ずかしながら私は完全な傍聴人になっていました。次の機会があったら何とかささやかな発言をと、反省頻りでした。5時半から夕食・懇親会・二次会と、殆ど気兼ねなしの楽しい時を過ごして就寝となりました。

2日目は朝6時半から探鳥会、7時半の朝食後から会議が始まり議題は1件で前日と同様活発な討論があり、次に各支部の活動報告があつて全日程を終えました。

今回の協議会に参加して、日本野鳥の会各支部役員の皆様が真剣に自然保護のために活動されているところを目の当たりに体験でき、今更ながら入会していて良かったと思う次第です。



左上から、楠見監事、海老原副支部長、橋口普及部長、藤掛支部長、柳生会長、大坂幹事



野鳥情報

戸田市彩湖 ◇11月7日、11月23日、西岸の林でアリスイ。モズが鳴くと現れる。11月28日、亜種オオカワラヒワ約10羽、ベニマシコ数箇所で（海老原美夫）。

さいたま市桜区 ◇11月9日、彩湖北端でアオアシギが「チョー」と鳴きながら降り立つ。湖面にカンムリカイツブリ、浮きにはウミネコ、ユリカモメ、カワウ（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区秋ヶ瀬公園 ◇11月9日、子供の森でムクノキに集まるアカハラ、シロハラ、シメを観察（鈴木紀雄）。◇11月28日、子供の森でトラツグミ1羽（海老原美夫）。

さいたま市見沼区大谷 ◇11月12日、大谷環境広場でタヒバリ約5羽、ハクセキレイ約10羽、セグロセキレイ2羽、カワラヒワなど。イカルチドリかと思ったがよく見たらコチドリが1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区深作～丸ヶ崎 ◇11月26日、水辺でカルガモ、コガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、オカヨシガモ、ホシハジロ、マガモ、カワウ、バン、オオバン、カイツブリ。田んぼでアオサギ、ダイサギ、タヒバリ、ハクセキレイ、カワセミ、ヒバリ、モズなど。葦原でキジ、オオジュリン、カシラダカ、アオジ、シジュウカラ。冬の鳥たちが一通り揃ってきました（本多己秀）。

春日部市内牧 ◇11月10日、宮代側でチョウゲンボウ旋回して鉄塔へ。シメ約5羽。ツツドリ1羽、地上から飛び出して2mほどの高さの枝にとまる。ノスリがハシブトガラス1羽にモビングされる。カシラダカなど（鈴木紀雄）。

蓮田市蓮田 ◇11月8日、田んぼでタヒバリ、ホオジロ、ヒバリ、ハクセキレイ。タゲリ3羽が上空10m位をふわーと飛んでいた（本多己秀）。

蓮田市黒浜 ◇11月10日、療養所内でムクノキにツグミ1羽、今期初認。シロハラも確認。上沼でオカヨシガモ♂2羽♀3羽（鈴木紀雄）。

木紀雄）。

岩槻市岩槻文化公園 ◇11月12日、カイツブリ、カワウ、アオサギ、コサギ、ユリカモメ4羽、カルガモ、コガモ、モズ、ジョウビタキ♂♀各1羽、ウグイス、メジロ、アオジ、ホオジロ、シメ、カケス、トラツグミ今期初認、アカハラ5羽、シロハラ2羽など。11月15日、セグロカモメ、上空を元荒川下流へ。ツグミ5羽、イカルチドリ6羽など（鈴木紀雄）。

越谷市健康福祉村 ◇11月13日、上空でユリカモメ7羽。マガモ、カルガモ混群13羽飛来するが池には降りず。コガモ、アオサギ、コサギ、ゴイサギ（鈴木紀雄）。

菖蒲町小林 ◇11月16日、午前10時10分頃、JA南彩の大きな売店のある近くの電線にミヤマガラス約100羽（内藤義雄）。

鴻巣市笠原 ◇11月12日、広い農耕地の人家寄りの地域でミヤマガラス約300羽。電線に両足でぶら下がって逆さになり遊んでいるのもいる。中にコクマルガラス淡色型1羽、暗色型1羽（鈴木紀雄）。

鴻巣市水上公園付近 ◇11月16日、午前11時50分頃、元荒川に沿う道路の電線に、ミヤマガラス約300羽、なかには一際小形に見えるコクマルガラスもいて、「キュール、キュール」と鳴き声が聞きました（内藤義雄）。

北本市中丸 ◇11月19日、午後4時20分頃、本宿交差点（中山道）で、ミヤマガラス約70羽が電線にいました。田畑のあるところにいると思っていたのに、市街地にも来るのですね（内藤義雄）。

武蔵丘陵森林公園 ◇11月25日、北風は強いが抜けるような青空の日、山田大沼のカモ達はまだ少な目。マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロの姿が見られた。垂れ下がっているはずのキンクロハジロの冠羽が風にあおられて、頭のとっぺんに数本突っ立っている。黒いオバQみたいで少し滑稽。彫刻広場はいつも静かで好きな場所。パラパラと枝に飛び上ったのはカシラダカ、藪にもぐり込ん

だのはアオジ。枝を離れた紅黄葉が間断なく斜めに降り注ぎ、アオハダの透けるようなレモン色の葉が逆光に映えて至福のひとつとき。西口に回ってようやくヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、キクイタダキ、コゲラの混群に出会う。ツグミは声のみ。ガビチョウはさえずり。◇12月2日、山田大沼のカモは周りの沼に分散しているらしい。あざみくぼ沼でトモエガモを見つけた。ふれあい広場東側の斜面でミヤマホオジロ10数羽（中村豊己）。

吉見町八丁湖 ◇11月16日、八丁湖は日によってカモの数が随分違うが、この日はにぎやかだった。マガモ、カルガモ、オナガガモに混じてハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ。丹念に探すとヨシガモ、オシドリも見つかった。入江の奥でオオバンが水から出ている草をつついて。その近くにバンの姿。北側の松林でヒガラ、キクイタダキ。その他ジョウビタキ、ヤマガラ、シロハラ、アオジ、ツグミなどが確認できた。冬鳥たちはまだ出揃っていないが、これからが楽しみな季節（中村豊己）。

所沢市山口 ◇11月12日午前、自宅でウグイスの囀りを聞きました。4回位下手な囀りをした後、地鳴きになりました。第一声を聞いたときは鳴きまねかと思いましたが、地鳴きが変わったのでウグイスなんだと確信しました（小林ますみ）。

所沢市狭山湖 ◇12月4日午前、堤防下草地斜面上部で盛んに採餌しているアマサギ一羽を見ました。この時期にこの場所でも目を疑いましたが、頭部に亜麻色がはっきり見えたのでアマサギと同定しました（小林ますみ）。

狭山市北入曾 ◇12月4日、ソウシチョウ5羽。今冬はよく目につきます。いままでにはあまり見かけなかったのですが、林の中、常緑のブッシュからブッシュと移動する。他にも狭山市内でソウシチョウが稲荷山公園で12月7日、約20羽、12月21日、約10羽。12月7日、赤坂の森で10羽+。12月8日、智光山公園で約10羽（久保田忠資）。

狭山市稲荷山公園 ◇12月21日、イカル約10羽（久保田忠資）。

坂戸市浅羽ビオトープ ◇12月8日午前8時40分、高木の梢にアカハラ1羽。午前10時頃、水路沿いの河畔林の低木、地面から1メートルほどの高さにフクロウ1羽。夜行性なので寝ている様子で、目を開けたり閉じたり。しばらくしてオナガ20羽の群れが襲い飛び立つ。当地初認（増尾隆、他3名）。

深谷市 ◇11月22日午後3時頃、利根川新上武大橋右岸下流100mの河川敷の中の粟畑で200羽位のスズメの群れ中に下の写真のような白いスズメ1羽（堀越省一）。



表紙の写真

ルリビタキ（スズメ目ツグミ科ルリビタキ属）

今月号の特集記事とは別の場所で撮影されたオス成鳥です。ウラル山脈より東のシベリア南部、カムチャッカ半島、アフガニスタンからヒマラヤの一带に繁殖分布。英名はSiberian Bluechat。日本では四国・本州中部以北の亜高山帯や高山帯、北海道の亜寒帯で繁殖し、冬は標高・緯度の低い地域に移動します。県内低地では冬の間よく茂った竹藪などに棲み、時々周辺の林に現れます。

写真と文：編集部



行事案内



夜の
口笛の
様子を
不気味に
鳴く

虎鴉

トラツグミ
Turdus dauma
29.5cm

(富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般 100 円、会員と中学生以下は 50 円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。

解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後 1 時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集合場所までお出ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月6日（日）

集合：午前 9 時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス 8：40 発にて「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、今井

見どころ：年明けると、タカ類は繁殖の準備に入ります。昔の鷹匠は縄張りから締め出された若鳥を捕らえ、手塩にかけて飼育したそうです。鷹狩でこの地を訪れたとされる家康は、ルリビタキやベニマシコに心奪われることはなかったのでしょうか？

注意：工事のため、コース変更の場合あり。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：2月10日（木）

集合：午前 9 時 10 分、彩湖道満グリーンパーク駐車場。

交通：埼京線武蔵浦和駅西口 2 番バス乗り場から、下笹目行き 8：43 発にて「彩湖道満グリーンパーク入口」下車。交差点まで戻り左折して土手を越える。

担当：倉林、百瀬、松村、有馬、森(秀)、赤坂、新部、赤堀

見どころ：カンムリカイツブリは群れになり落ち着いたところ。ヨシガモ、ミコアイサに会えるのも楽しみにしています。

注意：駐車は、北側のさいたま市駐車場（無料）を利用ください。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

〈差間コース〉

期日：2月6日（日）

集合：午後 2 時、浦和くらしの博物館民家園駐車場。念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅西口バス 1 番乗り場から、浦和美園経由埼玉スタジアム行き 13：31 発にて、「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：手塚、伊藤(芳)、工藤、倉林、若林、新井(勇)、赤堀

見どころ：冬の午後のひと時を楽しんでください。枯れたアシ原にひそんでいる猛禽類、小鳥たちを探しましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：2月11日（金・祝）

集合：午前 8 時 10 分、東武日光線柳生駅前または午前 8 時 30 分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7：11→春日部 7：25→栗橋 7：54→柳生 8：04 着。または JR 宇都宮線大宮 7：10→栗橋 7：41 着にて、東武日光線乗り換え。

解散：午後 12 時ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：橋口、玉井、内田、田邊、四分一、中里、伊藤(隆)

見どころ：昨年に引き続き谷中湖の干しあげ

が行われます。カモ類は期待できませんので、ワシ・タカの姿を求め、鷹見台まで遠征します。防寒対策をしっかりと、昼食持参でご参加ください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月13日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。
交通：秩父鉄道熊谷9：11発、または寄居8：49発に乗車。

担当：榎本（秀）、中里、後藤、和田、倉崎、石井（博）、高橋（ふ）、藤田、栗原、飛田、大澤、新井（巖）

見どころ：どこからか聞こえるジョウビタキの声。草むらから飛び立つのは、ホオジロやカシラダカ。ハクチョウめざして土手を歩きます。大空にタカが舞えば、それが今日のクライマックス。

さいたま市・大宮市民の森探鳥会

期日：2月13日（日）

集合：午前9時、JR宇都宮線土呂駅東口。
または午前9時20分、大宮市民の森入口前（駅東口から徒歩約5分・駐車場有）。

担当：工藤、藤原、松村、松永、有馬、赤坂、阿久沢（キ）、阿久沢（廣）

見どころ：立春も過ぎ季節が動き始めました。昨年はカワセミが3回も出てくれました。他にクイナ、オオジュリン、カモたちも待っています。期待しましょう。

『しらこぼと』袋づめの会

期日：2月19日（土）午後3時～4時ころ

集合：支部事務局108号室

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月19日（土）

集合：午前10時10分、森林公園南入口前。
交通：東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9：59発バスにて終点下車。

費用：入園料400円（子供80円）

担当：内藤、佐久間、岡安、藤掛、青山、喜多、後藤、大坂、藤澤、高橋（ふ）、山田（義）、

高橋（優）、中村（豊）

見どころ：梅もほころび、陽だまりには春の気配。小鳥の動きも水鳥の動きも活発になっていきます。活発な貴方の参加を待っています。

羽生市・羽生市水郷公園探鳥会

期日：2月19日（土）

集合：午前8時50分、東武伊勢崎線羽生駅改札口、集合後バスで現地へ。または午前9時30分水郷公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部8：13→久喜8：27→羽生8：46着。またはJR宇都宮線大宮7：39→久喜7：59にて、東武伊勢崎線乗り換え。

担当：中里、和田、榎本（秀）、田村、宮下、四分一、栗原

見どころ：道端の草花にも春のきざしを見るなか、湿地や沼地に潜む水鳥、アシ原に飛びかう小鳥たちを探してみましよう。赤城の山並みを背景にタカ類が飛んでくれればいいな。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：2月20日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、若林、森（力）、小菅、赤堀、新部、青木

見どころ：この時期見沼たんぼも忙しくなる。冬鳥を見たり、咲き出した梅の花を見たり、足元のホトケノザ、オオイヌノフグリなどの可憐な花を探したり。そんな早春を楽しみたい方はぜひどうぞ。

深谷市・仙元山公園探鳥会

期日：2月20日（日）

集合：午前9時、JR高崎線深谷駅南口ロータリー。

担当：小池（一）、小池（順）、倉崎、堀（敏）、堀（久）、藤田、新井（巖）、羽入田（利）、

羽入田（京）、大澤
見どころ：駅の近くで、カワセミを観察して
仙元山に移動。シロハラ、ビンズイ、
アオゲラ、ルリビタキなどを観察。ミ
ソサザイも越冬中との情報もあり、運
がよければトラツグミも見られるかも。

東松山市・物見山探鳥会

期日：2月20日（日）
集合：午前9時30分、物見山駐車場（峠を越
えた右側）。
交通：東武東上線高坂駅西口から、鳩山ニュー
タウン行きバス8：46、9：00発に
て「大東文化大学前」下車、徒歩約5
分（バス進行方向へ進みます）。
担当：島田、岡安、藤掛、志村、後藤、増尾、
池永、高橋（優）、中村（豊）、林
見どころ：昨年の探鳥会では最後にウソが出
てくれて締めくくりました。尾根から
山峡の地にベニマシコ、ミヤマホオジ
ロなどのゲストを探し歩きましょう。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月20日（日）
集合：午前9時30分、西武狭山線西武球場前
駅前。
担当：石光、長谷部、久保田、高橋（優）、
持丸、小林（ま）
見どころ：主役のカムリカイツブリの群を
はじめカモ類が中心です。玉湖神社の
周辺ではルリビタキ、シロハラ、ホオ
ジロ類も期待できます。堤防の上は吹
きさらしです。防寒はしっかりと。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月26日（土）
集合：午前8時、丸山公園北口駐車場。
交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗り場
から、西上尾車庫行き（畔吉経由）
7：32発にて「畔吉」下車、徒歩約8分。
担当：大坂、阿久沢（キ）、阿久沢（廣）、立岩、
永野（安）、永野（京）、山野、浅見
見どころ：早朝の探鳥会は思いもよらぬ冬鳥
に遭遇するかも。三文の徳といきたい

ですね、参加しませんか。赤い鳥に期
待して皆で探しましょう。

富士見市・柳瀬川探鳥会

期日：2月27日（日）
集合：午前9時、東武東上線柳瀬川駅東口前。
担当：高草木、佐久間、志村、神場、中村（治）、
中村（祐）、荒木、杉原、藤澤、池内、
原、山田（義）、持丸
見どころ：春待つ新芽の土手を歩きます。ア
シ原のアオジ、飛び交うシメやジョウ
ビタキ、水辺で旅立ちの準備のカモた
ち、それにタゲリやカワセミに会えたら
うれしいな。

岩槻市・岩槻文化公園探鳥会

期日：2月27日（日）
集合：午前8時40分、東武野田線岩槻駅前。
または午前9時20分、文化公園駐車場
（国道16号側）
交通：東武野田線大宮8：16発柏行き、また
は春日部8：23発大宮行きにて岩槻下
車。集合後バスで現地へ。
担当：長野、橋口、玉井、田中、中村（榮）、
吉安、長嶋、榎本（建）
見どころ：身近にある公園でもかなりの種類
の鳥が見られることを実感してくださ
い。前はオオタカの雄姿や可憐なベ
ニマシコの姿を見ることができました。

本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：2月27日（日）
集合：午前8時30分。JR高崎線本庄駅北口、
集合後、十王バス8：44発、新伊勢崎
行きにて「坂東大橋南詰」下車。また
は午前9時、現地集合可。
担当：町田、倉崎、堀（敏）、堀（久）、新井（巖）、
羽入田（利）、羽入田（京）
見どころ：猛禽類の坂東大橋、カモ類の坂東
大橋、冬こそ坂東大橋、空っ風の坂東
大橋。防寒、足ごしらえはしっかりと、
河原は超寒いです。



行事報告

11月23日(火、休) 蓮田市 黒浜沼

参加：55名 天気：快晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ ホシハジロ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン オオバン キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 出てすぐに、カワラヒワ、カシラダカ、シメが次々と梢でポーズを取ってくれて堪能した。その後も多くの冬鳥たちが姿を見せ、沼でもオカヨシガモ、ホシハジロが特別出張サービスしてくれた。やはり快晴無風の探鳥会は気持ちよく、楽しい。(玉井正晴)

11月23日(火、休) さいたま市 見沼自然公園

参加：77名 天気：快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ オオタカ バン オオバン キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ホオジロ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) ここでは、過去最高の参加者。まず、ホオジロの中にいるカシラダカを、違いを見比べながら観察。その後、明るい雑木林ではヤマガラが、また上空にはオオタカが出現し、雰囲気盛り上げる。カワセミは、少しだけ顔を出す。見沼自然公園の池では、毎回のとおりにカモ類、オオバン、バン等を手の届きそうな近さで観察をし、無事終了する。入会案内もよく出た。(工藤洋三)

11月28日(日) 本庄市 坂東大橋

参加：48名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ オカヨシガモ オナガガモ トビ オオタカ ノスリ ハイロチュウヒ チュウヒ ハヤブサ チョウゲンボウ キジ オオバン ハマシギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) 久しぶりの坂東大橋探鳥会。つきみ荘の土手から備前橋を渡り草原へ。ジョウビタキやカワラヒワ、モズの出迎えを受け河川敷へ。途中チョウゲンボウ、ノスリ、ハヤブサが出現し盛り上がる。川の近くで対岸の群馬県支部の探鳥会を発見。文明の利器携帯でトモエガモの情報をゲット。数は少ないがカモ類7種を確認。池では当地でも珍しいオオバンもチラ！ 突然メンバーが方向転換。チュウヒだ！ V字形の飛翔スタイルが良く観察できた。帰路草原を抜けると、なんとハイロチュウヒ♀が鳥とバトル。これで猛禽も7種。7、7のゾロメジャン！ 出発地までの足取りも軽く、穏やかな鳥見と初冬の日を満喫したハナマルの探鳥会だった。バスの運行時間が休日バージョンだったので一部の参加者にはゴメンナサイ！ (町田好一郎)

11月28日(日) 春日部市 内牧公園

参加：56名 天気：快晴

ゴイサギ コサギ オオタカ ノスリ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ミソサザイ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 快晴の小春日和に恵まれて、参加者は56名。過去50名を越えたのは3回のみだから久々の多人数。開始早々のじゃぶじゃぶ池の周囲は絶好のポイント。きれいな羽色のツグミ、ポテッとしたシメを見ているうちに、なんとイカル1羽出現。正面、サクラの枝に止まり、黄色いくちばしに皆感激。林の上空では、オオタカ、ノスリが旋回し、雑木林ではコゲラの穴掘りをじっくり観察。ミソサザイも出て、観察種数29と少なかったが、いつもと違う顔ぶれの探鳥会となった。(石川敏男)

11月28日(日) 狭山市 入間川

参加:23名 天気:晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ トビ チョウゲンボウ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシブトガラス (31種) 11月下旬だと言うのに、ツグミの姿が見られなかった。それにカモの種類、数が少ない。前の冬は、11、1、3月の三回で3種のカモしか記録されなかったが、この冬は、どうなるのだろう。(長谷部謙二)

12月5日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加:22名 天気:晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ミコアイサ ミサゴ トビ オオタカ ノスリ ハイロチュウヒ チュウヒ オオバン ダイゼン イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (48種) 早朝の大雨で中止を覚悟したが、現地に到着したら晴れてきた。最初に、嵐で迷ったのかダイゼンが居て驚いた。最近、谷中湖の浮島の上をチュウヒ類がよく飛ぶようになり見やすくなった。特にハイロチュウヒは近くに飛んできてくれて皆大喜び。ミサゴ、オオタカ、ノスリ、チュウヒも素晴らしく、ワシタカの渡良瀬を堪能できた。(玉井正晴)

12月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加:37名 天気:曇

カワウ ダイサギ アオサギ オオタカ ノスリ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ

カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 前日の下見ではポカポカの小春日和。今日はどうって変わって寒い朝となった。スタートするとすぐ、踏切前の民家の庭のポプラの天辺でコゲラがじっとしてこちらを見据えている。しばらく動かないでいてくれたので、じっくり観察できた。ゴルフ場ではノスリが出た。大木の横枝に止まって獲物を狙っている様子。あちこちからノスリ識別の説明が聞かれた。これもまた皆で見ることができた。だれかが言った「ツグミのなる木、シメのなる木」だと。随所でその大群を見ることができた。川原に出るとカワセミが最後を締めくくってくれた。種類は少なかったが、個体数の多い退屈しない探鳥会だった。(中里裕一)

12月12日(日) 岩槻市 岩槻文化公園

参加:78名 天気:曇一時小雨

カイツブリ カワウ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オオタカ コジュケイ イカルチドリ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) グランドでのスポーツ大会、小雨模様の天候、川辺での消防団の訓練と悪条件?のためか、前半は鳥の鳴き声もほとんど聞けず、「鳥がいないね～」という参加者からの声に焦る。その後、枝に止まったオオタカの雄姿をほぼ全員がスコープで観察でき盛り上がった。シメ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワも多数姿をみせてくれてほっとした。(長野誠治)



コウノトリ 1月2日我孫子市 (長野誠治)

連絡帳

●支部会員数久しぶりにほんの少し増加

合計2,389名の内訳は、特別会員117名、総合会員1,227名、支部型会員455名、家族会員588名、生涯会員2名です。2003年11月以来約14ヵ月ぶりの増加です。

全国の会員数は昨年6月、4年ぶりに増加しましたが、その後減少が続いています。それでも減少率は小さくなり、1月1日の会員数は46,964名、前月より4名減少にとどまりました。

●お試し入会の制度

申し込みいただくと、最新の『野鳥』誌1冊と入会案内パンフレットをお送りします。気に入ったらご入会いただく、入会されなくても『野鳥』誌を返送する必要はないという制度です。TEL 03-5358-3510 FAX 03-5358-3608 kikaku@wbsj.org

●野鳥の会カードのご紹介

支払い金額の0.5パーセントが自動的にオリコから野鳥の会に寄付されます。利用する人に負担は一切ありません。クレジットカードを作るなら、03-5358-3510に電話してパンフレットを取り寄せ、ご確認ください。

●栃木県支部の渡良瀬遊水池ワシタカ調査

日時：2月6日（日）午前9時から12時まで
集合：藤岡町遊水池会館

年末講演会で話を聞いたカウント調査。人手が足りないので、他支部からの参加を歓迎しています。「この調査の継続が、開発から遊水池を守る大きな武器になってきました。ぜひご参加ください」と栃木県支部報『おおり』で呼びかけています。雨天時は11日に延期。
TEL028-625-4051 wbsj-tochigi@nifty.com

●普及活動

12月4日（土）東京港野鳥公園でさいたま市六辻公民館主催の探鳥会が開催され、倉林宗太郎が指導しました。

●事務局の予定

2月5日（土）編集会議、普及部会議。
2月12日（土）3月号校正（午後4時から）。
2月19日（土）袋づめの会（午後3時から）。
2月20日（日）役員会。

●会員数は

1月1日現在2,389人です。

活動報告

12月1日（水）、21日（火）本部常務会など（海老原美夫）。

12月6日（月）都内千代田区で開催された第2回渡良瀬貯水池干し上げ鳥類調査検討小委員会に出席（藤掛保司）。

12月11日（土）1月号校正（海老原美夫・大坂幸男・喜多峻次・佐久間博文）。

12月18日（土）—19日（日）モニタリングサイト1000の調査講習に参加（藤掛保司・小荷田行男・佐久間博文・内田孝男）。

12月19日（日）役員会（司会：長野誠治、各部の報告・年末講演会準備など）。

12月20日（月）1月号を発送（倉林宗太郎）。

編集後記

昨年の鳥見納めは我孫子市のコウノトリ。鳥見初めは青い鳥がいいな。（山）

『しらこぼと』でやっと支部とつながっている。今年はまだ少しアクティブに。（も）

アッ、コウノトリ！ と思ってよくよく見たら、アオサギ。今年の初見でした。（内）

年末年始はバンクーバーでサケびたり。酒ではなく鮭です。おいしかった。（み）

しらこぼと 2005年2月号（第250号） 定価200円（会員の購読料は会費に含まれます）

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階

（財）日本野鳥の会会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社